

公共施設マネジメント戦略会議（全体調整部会） 令和4年度第1回会議次第

令和4年（2022年）8月24日（水）
庁内フォーラム開催

◎ 議 題

「FM戦略プラン（第7章）」に位置付けた取組みの現状と今後の予定について

▽会議資料

資料1 「FM戦略プラン（第7章）」に位置付けた取組みの現状と今後の予定
について

【参考】 横須賀市FM戦略プラン（概要版）

◎「FM戦略プラン(第7章)」に位置付けた取組みの現状と今後の予定について【FM推進課】

(1)FM戦略プランの方針を早期に発揮させるための取組み

| 番号 | ① | 取組名 | 地域コミュニティの拠点づくり | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|----|--|---------------------------|----------|--|--|------------|----|----|----|--|------------------------|--|--|---------------------------|--------------------------------------|--|--|--|
| 概要 (プラン記載内容) | | 多様な世代の地域住民が、集い、交流できる「居場所機能(個人が予約なしで自由に訪れることができるスペース等)」を、当該地域の拠点となっている施設に設けることについて検討します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和3年度の状況 | | <ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センターや青少年の家などが併設された複合型施設において、これまでは年齢等で利用スペースや利用時間帯が区分されている部分を、世代にとらわれない多様な使い方ができるような地域拠点となるように、その運営管理形態を見直す検討を進めました。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今後(令和4年度以降)の予定 | | <ul style="list-style-type: none"> 上記の検討に基づき、令和4年10月から、池上・武山の市民プラザで、居場所機能を設けるなど、運営・管理の一体化を実現します。 新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえながら、池上・武山以外のコミュニティセンター等についても、居場所機能を設けた地域拠点のあり方について、引き続き検討していきます。 学校施設については、横須賀市教育環境整備計画と整合性を図りながら、検討を進めます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <table border="1"> <tr> <th colspan="3">R4(2022)</th> <th>R5(2023)以降</th> </tr> <tr> <th>前期</th> <th>中期</th> <th>後期</th> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">池上・武山市民プラザの運営・管理一体化の実現</td> <td>池上・武山以外のコミセン等の運営・管理一体化の検討</td> </tr> <tr> <td colspan="4">学校施設への地域拠点の設置を教育環境の整備に関する計画と整合性を図り検討</td> </tr> </table> | | R4(2022) | | | R5(2023)以降 | 前期 | 中期 | 後期 | | 池上・武山市民プラザの運営・管理一体化の実現 | | | 池上・武山以外のコミセン等の運営・管理一体化の検討 | 学校施設への地域拠点の設置を教育環境の整備に関する計画と整合性を図り検討 | | | |
| R4(2022) | | | R5(2023)以降 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 前期 | 中期 | 後期 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 池上・武山市民プラザの運営・管理一体化の実現 | | | 池上・武山以外のコミセン等の運営・管理一体化の検討 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校施設への地域拠点の設置を教育環境の整備に関する計画と整合性を図り検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 番号 | ② | 取組名 | 老朽化施設に対する安全確保の取組み | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|----|--|-------------------|----------|--|--|------------|----|----|----|--|---------------------------|--|--|--|---------------------------|--|--|--|----------------------|--|--|--|--|--|--|-----------------|
| 概要 (プラン記載内容) | | <p>旧耐震基準で整備された施設を中心に、安全確保に向けた対応を図ります。</p> <p><旧耐震基準建物></p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年の家:8施設【追浜・本公郷・衣笠・森崎・浦賀・鴨居・久里浜・大楠】 老人福祉センター:2施設【船越・秋谷】 市営住宅:4施設【田浦月見台・長浦・大津・池の谷戸】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和3年度の状況 | | <ul style="list-style-type: none"> 船越老人福祉センターを令和3年10月末に廃止しました。 本公郷青少年の家を令和4年3月末に廃止しました。 青少年の家を廃止する際には、当該施設が担う放課後児童の居場所機能について、放課後こども教室により対応することを原則としました。 老朽化している追浜コミュニティセンター南館を令和4年3月に廃止しました。 老朽化している公園水泳プールについては、近隣学校のプール開放等で対応しながら、順次廃止することとしました。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今後(令和4年度以降)の予定 | | <ul style="list-style-type: none"> 青少年の家は、概ね、令和5年度末の廃止を目指します。 廃止済の田浦月見台住宅については、他用途での活用の可能性を検討します。 追浜コミュニティセンター南館併設の北消防署追浜出張所については、建物が老朽化しているため、令和7年度に向けて、移転・新築を進めます。 公園水泳プールについては、令和5年度末以降、順次廃止を進めます。 相当の築年数が経過した公共施設については、安全性確保の観点や、再開発等周辺の動向を踏まえ、その機能の在り方とともに、廃止の必要性を検討します。 廃止の時期や手法が具体化した施設については、早期に市民周知を図ります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <table border="1"> <tr> <th colspan="3">R4(2022)</th> <th>R5(2023)以降</th> </tr> <tr> <th>前期</th> <th>中期</th> <th>後期</th> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">上記①の取組みと連動した廃止(青少年の家・老セン)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">市営住宅長寿命化計画に基づき順次取組み(市営住宅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">北消防署追浜出張所の移転準備(R7まで)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>公園水泳プールの廃止(R5~)</td> </tr> </table> | | R4(2022) | | | R5(2023)以降 | 前期 | 中期 | 後期 | | 上記①の取組みと連動した廃止(青少年の家・老セン) | | | | 市営住宅長寿命化計画に基づき順次取組み(市営住宅) | | | | 北消防署追浜出張所の移転準備(R7まで) | | | | | | | 公園水泳プールの廃止(R5~) |
| R4(2022) | | | R5(2023)以降 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 前期 | 中期 | 後期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上記①の取組みと連動した廃止(青少年の家・老セン) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市営住宅長寿命化計画に基づき順次取組み(市営住宅) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北消防署追浜出張所の移転準備(R7まで) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 公園水泳プールの廃止(R5~) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |


| | | | |
|-----------------------------------|--|-----|------------------|
| 番号 | ③ | 取組名 | 施設の集約・複合化に向けた取組み |
| 概要 (プラン記載内容) | 施設の移転・更新を行う際には、他施設との集約・複合化によって面積縮減を図り、より効率的で利便性の高い施設としていくことを原則とします。 | | |
| 令和3年度の状況 | <ul style="list-style-type: none"> 当プラン第7章(1)①～⑥の再編を伴う取組みを実施する際には、原則として、集約・複合化を念頭に入れて検討しました。 消防団第10分団(浦郷町)を、夏島町自転車等保管所跡地に移転予定の北消防署追浜出張所に統合することとしました。 坂本青少年の家を廃止し、当該建物を活用して、坂本コミュニティセンターを移転させることとしました。 役所屋追浜店及び追浜市民活動サポートセンターについて、令和4年9月末で廃止することとしました。 森崎保育園とハイランド保育園を統合し、(仮称)南こども園を久里浜公園内のプール敷地を転用して設けることとしました。 粟田老人デイサービスセンターについては、令和3年度末に廃止しました。 | | |
| 今後(令和4年度以降) の予定 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、施設の新設や建て替えにあたっては、周辺の公共施設との集約・複合化を常に意識して進めます。 特に、施設の拠点性や効率的な利用という視点で、横須賀市教育環境整備計画に基づき検討対象となる学校施設の複合利用に着目します。 田浦青少年自然の家については、ソレイユの丘のキャンプ機能拡充に併せて、令和4年度末で廃止します。 消防団第10分団と北消防署追浜出張所の移転・統合を令和7年度に向けて進めます。 役所屋追浜店及び追浜市民活動サポートセンターを令和4年9月末に廃止します。 2保育園を統合し、令和8年度に、久里浜公園水泳プール跡地へ、(仮称)南こども園を整備します。 | | |
| | R4(2022) | | R5(2023)以降 |
| | 前期 | 中期 | 後期 |
| | (1)①～⑥の再編を伴う取組みの実施時に併せて集約・複合化を検討 | | |
| | 田浦青少年の自然の家の廃止 | | |
| 第10分団と北消防署追浜出張所の統合準備(R7まで) | | | |
| 役所屋追浜店・追浜市民活動サポセン廃止 | | | |
| 森崎・ハイランド保育園を統合し(仮称)南こども園を整備(R7まで) | | | |

| | | | |
|--------------------|---|------------|-----------------|
| 番号 | ④ | 取組名 | 民間との協働による取組みの推進 |
| 概要 (プラン記載内容) | PFI手法のように制度化された公民連携はもちろん、民間施設の利活用や民間団体との協力関係構築など、費用を抑えつつ良質な公共サービスを提供することが期待できる民間との協働について、その可能性を積極的に検討します。 | | |
| 令和3年度の状況 | <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅のうち、本公郷改良アパートの建て替え事業については、引き続き、PFI手法により、取組みを進めました。 秋谷老人福祉センターの廃止にあたっては、地域拠点としての必要性を念頭に置きながら、民間との連携も視野に入れた跡地活用の検討を進めました。 施設サービスの提供にあたり、民間等が所有する施設等を活用する手法について検討を進めました。 | | |
| 今後(令和4年度以降) の予定 | <ul style="list-style-type: none"> 上記の取組みを引き続き進めます。 未利用の土地・建物の活用に向け、民官連携推進の窓口設置など、民間と連携した取組みを行うためのプラットフォームづくりを推進します。 ソレイユの丘について、Park-PFI制度と指定管理者制度により、キャンプ機能の強化を含む公園の拡張及び全体リニューアルを推進します。 | | |
| | R4(2022) | | R5(2023)以降 |
| | 前期 | 中期 | 後期 |
| | 本公郷改良アパートの建替え(PFI)を実施(~2025年) | | |
| | 秋谷老セン跡地活用に関する庁内部局間での連携した検討 | | |
| プラットフォーム運営準備 | | プラットフォーム運営 | |
| 民間・他団体保有施設活用の検討 | | | |

| | | | | |
|--------------------|---|--|------------|----|
| 番号 | ⑤ | 取組名 | 適正な施設保全の推進 | |
| 概要 (プラン記載内容) | | 施設の保全に関する計画を策定し、長寿命化に向けた取組みを計画的に行います。 | | |
| 令和3年度の状況 | | <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設保全計画で優先的に対処すべきと評価した建物の長寿命化を図るため、大規模改修等の優先順位付けを行い、それに基づき予算計上を実施しました。 ・保全の視点を踏まえて、施設に対する令和4年度予算の査定を実施しました。 | | |
| 今後(令和4年度以降) の予定 | | R4(2022) | | |
| | | 前期 | 中期 | 後期 |
| | | 計画に基づく保全の実施 | | |
| | | 評価結果に応じた予算計上 | | |
| | | R5(2023)以降 | | |

| | | | | |
|--------------------|---|--|---------------------|----|
| 番号 | ⑥ | 取組名 | 小・中学校の適正規模・適正配置の取組み | |
| 概要 (プラン記載内容) | | 本市には、小学校46、中学校23の計69校の市立小・中学校があり、床面積で見ると、公共施設全体の約4割を占めています。 今後、児童数が少なくなる学校や、通学距離が長い学校等について適正規模・適正配置を進めるため、具体的な検討地域や時期を定めた「実施計画」を策定します。「実施計画」に基づき、学校関係者や保護者、地域の方々と構成する「地域別小中学校適正規模・配置検討協議会」を設置し、通学区域の見直しや統廃合などの方策を検討します。 | | |
| 令和3年度の状況 | | ・小中学校の教育環境の整備に関する計画について、教育委員会で策定を進めました。 | | |
| 今後(令和4年度以降) の予定 | | <ul style="list-style-type: none"> ・計画に位置付けた学校(田浦小・長浦小、走水小・馬堀小)を対象にし、令和7年度まで検討を進めます。 ・計画に位置付けた学校(逸見小・沢山小・桜小・汐入小)を対象にし、令和11年度まで検討を進めます。 ・①の地域拠点機能をはじめ、学校機能以外の公共施設の機能を学校再編後の跡地や学校内に設ける場合には、横須賀市教育環境整備計画における当該校の位置づけを踏まえ、地域別の検討を行うことを基本とします。 ・学校の計画はFM戦略プランの目標達成上も重要な位置付けを占めるので、強固な連携を図ります。 | | |
| | | R4(2022) | | |
| | | 前期 | 中期 | 後期 |
| | | 計画で位置付けた学校(田浦小・長浦小、走水小・馬堀小)を対象にした検討(R7まで) | | |
| | | R5(2023)以降 | | |
| | | 計画で位置付けた学校(逸見小・沢山小・桜小・汐入小)を対象にした検討(R11まで) | | |

| | | | | |
|--------------------|---|---|------------|----|
| 番号 | ⑦ | 取組名 | 施設使用料等の見直し | |
| 概要 (プラン記載内容) | | 将来の公共施設の適正な管理と安定的な運用に向けて、施設使用料等のあり方を見直します。 | | |
| 令和3年度の状況 | | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に見直しを行った新たな額による使用料徴収を行いました(激変緩和措置あり)。 ・市民以外の利用について、公平性の観点から、新たな料金設定に向けた検討を進めました。 | | |
| 今後(令和4年度以降) の予定 | | <ul style="list-style-type: none"> ・将来的に、激変緩和措置を講じた暫定金額等の見直しを行います。 ・令和4年10月から、予約方法の利便性向上と併せて、市民以外の利用も踏まえた、新たな料金により施設を運営します。 ・使用料改定に伴う収入増については、FM戦略プランの効果額として計上します。 | | |
| | | R4(2022) | | |
| | | 前期 | 中期 | 後期 |
| | | 新使用料徴収(激変緩和措置あり) | | |
| | | R5(2023)以降 | | |
| | | 使用料徴収見直し(本来金額)検討 | | |
| | | 市民以外の新料金設定準備 | | |
| | | 市民以外の新たな使用料徴収 | | |

| | | | | | | |
|-----------------|---|---|-------------|----|--|--|
| 番号 | ⑧ | 取組名 | 維持管理費縮減の取組み | | | |
| 概要 (プラン記載内容) | | 維持管理費の縮減に向けて、維持管理手法や委託方法の見直しの他、施設のあり方についても検討します。 | | | | |
| 令和3年度の状況 | | <ul style="list-style-type: none"> ・電力調達の見直しを行い、施設維持管理費の縮減を図りました。 ・コミュニティセンターの機械警備委託を一括することで、事務負担の軽減や維持管理費の縮減を図りました。 ・老人福祉センターの入浴設備については、令和3年度末に廃止しました。 | | | | |
| 今後(令和4年度以降)の予定 | | <ul style="list-style-type: none"> ・上記取組みの効果を確認した上で、他施設への波及も検討します。 ・個別契約を複数契約に見直した場合、市内の中小事業者に影響を及ぼす可能性もあるため、契約形態の見直しについては、慎重に検討していきます。 ・将来的に複数の業務や施設を包括的に委託する「包括委託」の必要性も検討するため、先進自治体の調査も引き続き行います。 | | | | |
| | | R4(2022) | | | R5(2023)以降 | |
| | | 前期 | 中期 | 後期 | | |
| | | 庁内検討、先進市の情報収集 | | |  | |

| | | | | | | |
|-----------------|---|---|----------------------|----|-----------------------------|--|
| 番号 | ⑨ | 取組名 | 利用率向上のための取組み | | | |
| 概要 (プラン記載内容) | | 利用率向上を図るため、市民にとって利便性の高い施設となるように、ソフト・ハードの双方から取組みを進めます。 | | | | |
| 令和3年度の状況 | | <ul style="list-style-type: none"> ・利用予約が必要な施設について、当日予約の方法や団体・個人の利用単位を緩和するとともに、空き時間については市民以外の利用も可能とするなど、利用率向上に向けた各種利用条件緩和に向けた検討を進めました。 | | | | |
| 今後(令和4年度以降)の予定 | | <ul style="list-style-type: none"> ・前年度までの検討結果に基づき、公共施設予約システムの改修を行い、利用条件緩和を進めます。 ・利便性向上を図っても利用率向上が見込みにくい施設や、行政サービスの観点から見直しが必要と思われる施設については、施設やサービスの縮減も方向性のひとつとして検討します。 | | | | |
| | | R4(2022) | | | R5(2023)以降 | |
| | | 前期 | 中期 | 後期 | | |
| | | 要予約施設について各種利用条件の緩和に向けた準備 | | | 利用条件緩和後の施設運営(引き続き他施設への拡大検討) | |
| | | | 利用状況が思わしくない施設等の縮減の検討 | | | |

| | | | | | | |
|-----------------|---|---|------------------------|----|---------------------------|--|
| 番号 | ⑩ | 取組名 | 未利用施設の速やかな資産活用 | | | |
| 概要 (プラン記載内容) | | 前記まで(①～⑨)の取組みに伴い、行政目的での利活用が見込まれなくなった施設については、速やかに売却・貸付を行うことや、サウンディング調査を行い、新たな活用方法を民間事業者から募ることなど、資産としての活用を積極的に進めます。 | | | | |
| 令和3年度の状況 | | <ul style="list-style-type: none"> ・土地・建物の適正利用について検討するため、公有未利用地等の有無とともに、当該地等の利活用の希望有無について全庁照会し、庁内マッチングの取組みを進めました。 | | | | |
| 今後(令和4年度以降)の予定 | | <ul style="list-style-type: none"> ・廃止済みの浦郷改良アパート跡地への夏島町自転車等保管所移転を進めるとともに、余剰地については、民間等への有償貸付を検討します。 ・定期的な調査による未利用施設の状況確認の他、部局の取組みに伴い生じた突発的な事例にも随時対応していきます。 ・未利用の土地・建物の活用に向け、民間連携推進の窓口設置など、民間と連携した取組みを行うためのプラットフォームづくりを推進します。 | | | | |
| | | R4(2022) | | | R5(2023)以降 | |
| | | 前期 | 中期 | 後期 | | |
| | | 市民以外の施設利用に向けた準備 | | | 市民以外への施設利用(引き続き他施設への拡大検討) | |
| | | | 部会設置による庁内検討(案件ごとに随時検討) | | | |
| | | | プラットフォーム運営準備 | | | |
| | | | プラットフォーム運営 | | | |

(2)横須賀再興プランに位置付けられている取組み

| | | | | | |
|--------------------|---|-----|---------------|------------|--|
| 番号 | ① | 取組名 | スクールコミュニティの推進 | | |
| 概要 (プラン記載内容) | 子どもから高齢者まで様々な世代が交流できる仕組みとして、小学校等の学校施設内に地域コミュニティ機能を集約するなど、地域のコミュニティ拠点を整備します。 | | | | |
| 令和3年度の状況 | ・モデル校(汐入小学校、鷹取小学校、馬堀小学校)で地域との協力体制を構築し、事業化を進めました。 | | | | |
| 今後(令和4年度以降) の予定 | R4(2022) | | | R5(2023)以降 | |
| | 前期 | 中期 | 後期 | | |
| | 汐入小・鷹取小・馬堀小で事業実施 | | | → | |
| | その他地域への拡大 | | | → | |

| | | | | | |
|--------------------|--|-----|---------------------|------------|--|
| 番号 | ② | 取組名 | 市街地再開発事業における公共施設の参画 | | |
| 概要 (プラン記載内容) | 中心市街地や拠点市街地の活性化、防災性の向上、都市機能の更新を図るため、市街地再開発事業への支援を行います。 | | | | |
| 令和3年度の状況 | ・追浜駅前第2街区市街地再開発事業において、図書館の整備を検討しました。 | | | | |
| 今後(令和4年度以降) の予定 | R4(2022) | | | R5(2023)以降 | |
| | 前期 | 中期 | 後期 | | |
| | 追浜駅前事業構想・計画作成 | | | → | |
| | | | | 追浜駅前設計・工事 | |